



## 建造物 ちぶ川（井泉）

形状は半地下式石積み湧水、規模は3間と4間（5.4m×7.2m）である。

ちぶ川は琉球石灰岩作りの井泉。正面外周には土圧防止のための弧状の配石をし、正面内と両側面には二段の切石積みと布積みで囲まれている。正面中央下面に一枚岩をコ状に切り込んだ湧水口がある。注ぎ口は張り出した溜池から作り出しにより3門設けられている。左側面手前には出入口の下り階段が9段ある。手前の石積み中央には排水溝を設け、その上には渡りの一枚石の橋が架かっている。

往時の時代を知る貴重な建造物である。

玉代勢ムラを中心として北谷・伝道ムラなどが使用していた。若水や産湯としてもちいた神聖な湧水である。旧暦正月3日、8月11日のカーウガミには北谷ノロが、2月のニングウチャーには北谷ノロとムラ人が拝む。下流域は苗代田として、沖縄三大美田の一つである北谷ターブックワの源流にあたる。平成16年に米国海兵隊により復元された。